

---

# 第33回犬山シンポジウム

## プログラム

---

日時：2022年8月4日（木）13:00～5日（金）12:00

場所：名古屋マリオットアソシアホテル 17階 「コスモス」

愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1-4

TEL：052-584-1122

会費：3,000円

共催：犬山シンポジウム

公益財団法人ウイルス肝炎研究財団

エーザイ株式会社

積水メディカル株式会社

## 【会場について（JR 名古屋駅構内）】



※ホテルフロントレセプションは 15F に位置しています。フロントレセプションへはスカイシャトルエレベーター（1F または 2F）またはホテルエレベーターをご利用ください。

- ・鉄道 東京より「のぞみ」で 1 時間 45 分（東海道新幹線）
- ・飛行機 セントレア<<中部国際空港>>より名鉄空港特急「ミュースカイ」で 28 分
- ・お車 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約 5 分

## 【発表時間について】

演 題 : 発表 10 分、質疑 5 分

特別講演 : 発表 25 分、質疑 5 分

## 【その他】

・原則、現地参加の会となります。なお、COVID-19 による都道府県規制や施設ルール等のご事情により現地参加が難しい場合に備え、WEB でご参加いただける準備も進めてございますので、ご希望の方は以下までご連絡をお願いいたします。

緊急連絡先 : [e-ils@sunpla-mcv.com](mailto:e-ils@sunpla-mcv.com)

・立食による情報交換会（感染対策を講じての実施）の他、8 月 4、5 日のお昼は軽食を準備しております。なお、国公立等の施設にご所属の先生方におかれましては、事前にご所属施設の規則をご確認の上、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

## 【第1日目 8月4日(木)】

**13:00~13:05**

開会の挨拶

金子 周一 (犬山シンポジウム代表世話人)

**13:05~14:35**

セッション1： B型肝炎

座長： 小池 和彦 (関東中央病院)

茶山 一彰 (広島大学大学院医系科学研究科医療イノベーション共同研究講座)

演題1 HBx と肝発癌

小池 和彦

関東中央病院

演題2 HBV cccDNA 制御をめざした IFN- $\gamma$  シグナル経路の検討

中本 安成

福井大学学術研究院医学系部門内科学(2)分野

演題3 HBV-RNA を標的とした新規低分子化合物の開発

田中 靖人

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座

演題4 CVP-NASVAC 経鼻投与による B型肝炎治療および予防効果

日浅 陽一

愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学

演題5 B型慢性肝疾患に対する核酸アナログ治療で HBs 抗原陰性化例における核酸アナログ中止後の予後に関する検討

鈴木 文孝

虎の門病院肝臓センター

演題6 HBs 抗原の消失と HBs 抗原量の減衰-自然経過と治療介入

八橋 弘

国立病院機構長崎医療センター

－ 休憩（10分）－

**14:45～16:00**

**セッション2： C型肝炎**

座長： 茶山 一彰（広島大学大学院医系科学研究科医療イノベーション共同研究講座）  
持田 智（埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科）

演題1 Nanopore シークエンサーを用いた HCV 全長 1 分子ハプロタイピングシステムの構築とその応用

榎本 信幸

山梨大学医学部内科学講座第一教室

演題2 DAA 治療後の肝病態進展予測因子としての血清 Angiopoietin-2 の検討

坂本 直哉

北海大学大学院医学研究院消化器内科学教室

演題3 NS5A-P29 ないし P32 の欠損がある HCV 株の発生機序

持田 智

埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科

演題4 ウイルス肝炎撲滅へ：信州大学の取り組み

梅村 武司

信州大学医学部内科学第二教室

演題5 C型肝炎における SVR 後肝発癌について

平松 直樹

大阪労災病院消化器内科

－ 休憩（10分）－

**16:10~17:40**

**セッション 3： 脂肪性肝炎**

座 長： 岡上 武（大阪府済生会吹田病院）

金子 周一（金沢大学大学院 情報医学開発講座）

演題 1 肝細胞における細胞内封入体の役割

原田 大

産業医科大学第3内科学

演題 2 脂肪性肝炎と骨格筋萎縮における老化の意義～老化促進マウスを用いた検討～

清水 雅仁

岐阜大学大学院医学系研究科消化器内科学分野 化器・代謝内科

演題 3 非アルコール性脂肪肝炎（NASH）病態モデルを用いた一連の病態解析

寺井 崇二

新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野

演題 4 Gut-Liver axis に基づく NASH/ASH 病態解析と治療戦略

吉治 仁志

奈良県立医科大学消化器・代謝内科

演題 5 NAFLD の病態理解に基づく個別化医療の試み

中川 勇人

三重大学大学院医学系研究科消化器内科学

演題 6 人工知能(AI)による NAFLD screening, NASH 線維化診断法の開発

岡上 武

大阪府済生会吹田病院

— 休憩（10分） —

**17:50～18:20**

特別講演 1 : 「私の肝炎研究を振り返って」

座長：岡上 武（大阪府済生会吹田病院）

演者：林 紀夫（関西労災病院）

18:20～18:35 写真撮影

18:45～20:00 情報交換会（立食形式）

## 【第2日目 8月5日(金)】

**8:45~11:10**

### セッション4： 肝癌

座長： 工藤 正俊（近畿大学医学部消化器内科）

竹原 徹郎（大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）

演題1 C型肝炎由来肝細胞癌の発癌過程における血清PN抗原の臨床的意義

沖田 極

周南記念病院

演題2 Fontan 関連肝疾患における肝細胞癌の臨床病理的検討

徳重 克年

東京女子医科大学消化器内科

演題3 ヒトiPS細胞由来病態モデルの作成と先天性肝線維症の病態解析

朝比奈 靖浩

東京医科歯科大学消化器内科

演題4 メチル化SEPT9による肝細胞癌分子標的治療の予後予測

高見 太郎

山口大学大学院医学系研究科消化器内科学

演題5 連続発生癌結節のDriver変異スペクトラム;PersonalizedからTumorized治療へ

小俣 政男

山梨県立中央病院

— 休憩（10分） —

演題6 肝癌の腫瘍微小環境の変遷と免疫治療反応性

加藤 直也

千葉大学大学院医学研究院消化器内科学

演題 7 新しい肝がんの腫瘍マーカー  
金子 周一  
金沢大学大学院情報医学開発講座

演題 8 原発性肝細胞癌に対する薬物による治療効果判定時期の差異  
泉 並木  
武蔵野赤十字病院

演題 9 非ウイルス性肝癌の分子分類と免疫微小環境  
竹原 徹郎  
大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

－ 休憩（10分）－

**11:20～11:50**

特別講演 2：「一生涯一病院での肝臓学」

座長：金子 周一（金沢大学大学院情報医学開発講座）

演者：熊田 博光（虎の門病院）

**11:50～12:00**

閉会の挨拶

金子 周一（犬山シンポジウム代表世話人）